

①市民の減災行動について

自然災害による被害を軽減させるためには、市民一人ひとりの知識・意識・行動力を高めていくことが重要だと考えています。

このアンケートでは、市民の皆さまに防災についての考えや取り組み方などをおたずねし、今後の施策の検討に役立ててまいります。

※各図表の「N」は、回答者総数を表しています。

風水害が発生するおそれのあるとき、名古屋市および気象庁では、避難の判断にかかる情報を段階に応じてお知らせしています。

<名古屋市からお知らせする情報>

「避難準備情報」

災害を予測して「避難勧告」を発令する準備に入ったことをお知らせするものです。今後の状況に注意して避難の事前準備をしたり、高齢者や障害のある方の自主避難開始の目安となります。

「避難勧告」

災害が発生するおそれがあるため、避難をすすめるために発令するものです。状況に応じて高層階や避難所に避難をしてください。

「避難指示」

災害の状況が切迫し急を要する時に発令するもので、「勧告」よりも強く避難をすすめるために発令するものです。災害の発生するおそれの少ない場所に避難するか、避難する余裕がない場合は、4階建て以上の鉄筋コンクリート造の建物等に一時避難してください。

<気象庁からお知らせする情報>

「各種警報」

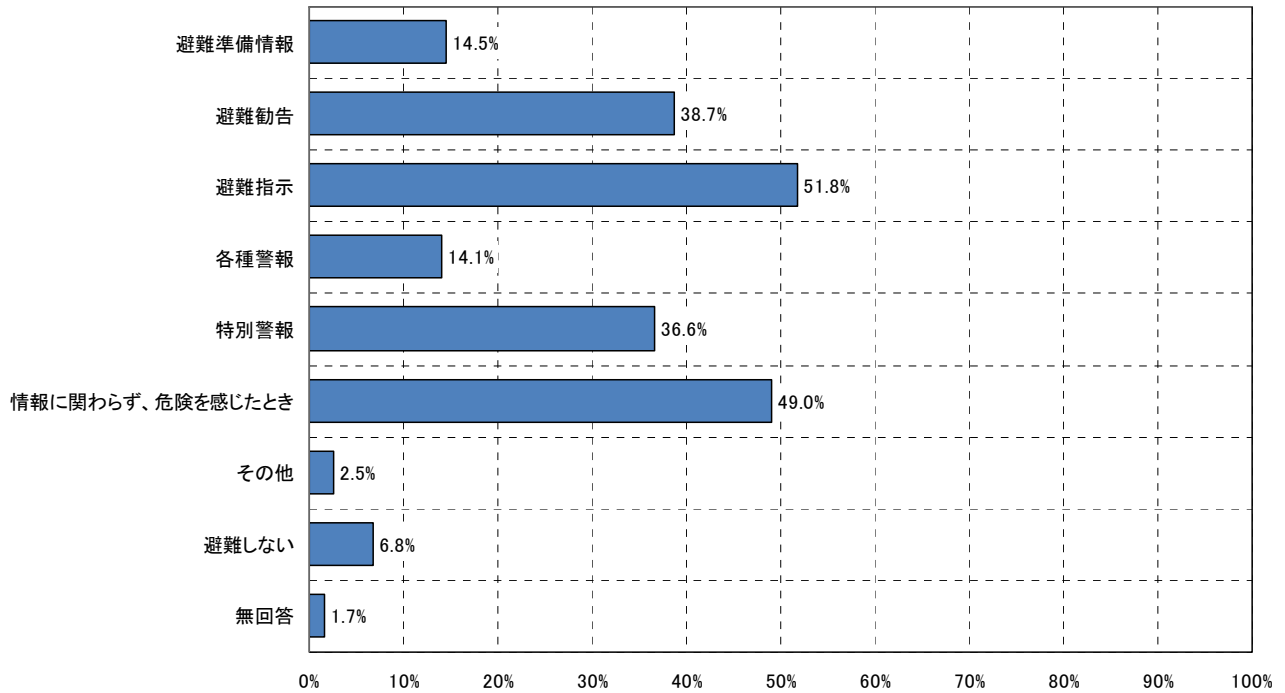
大雨や強風などの気象状況によって、重大な災害が起こるおそれのあるときに発表して、注意や警戒を呼びかけるもの。

「特別警報」

数十年に一度しかないような各種警報の発表基準をはるかに超える現象に対して県単位で発表します。

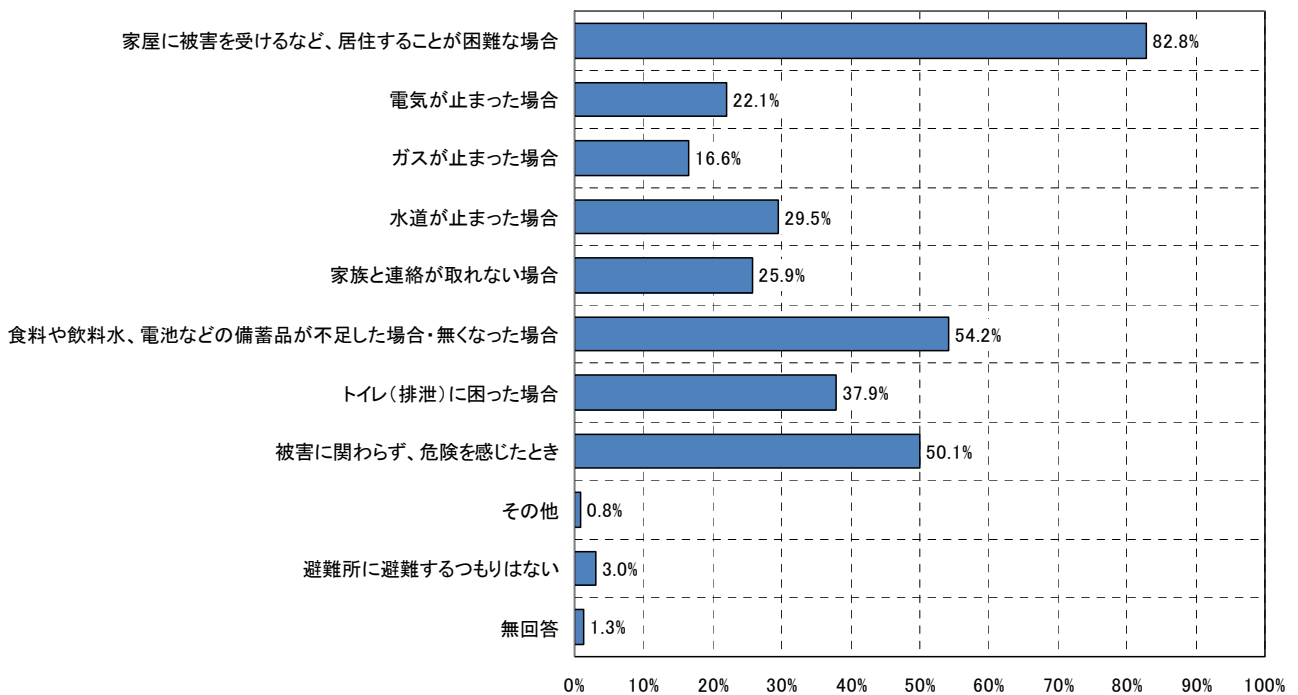
問1 あなたは、風水害が**発生するおそれがある場合**、どの情報を見聞きしたときに避難行動を開始しますか。(○はいくつでも)

N=951



問2 あなたは、**災害に遭ったとき**、どのような状況になった場合に避難所へ避難しようと考えますか。(○はいくつでも)

N=951



名古屋市では、いざというときに備えて、それぞれの目的に合わせた防災マップを作成し、みなさまのご自宅に配布させていただいています。

【あなたの街の避難所マップ】



各区の避難所、避難場所、土砂災害危険箇所などの情報を掲載した地図です。

【あなたの街の地震マップ】



表面地層を詳細に分類し、50m四方の区画ごとに揺れと液状化をできるだけ精度よく予測して作成した地図です。

【あなたの街の洪水・内水ハザードマップ】



各区の洪水(河川のはん濫による浸水)や内水はん濫(大雨による浸水)が予想される地域を示した地図です。

【あなたの街の津波避難ガイドマップ】



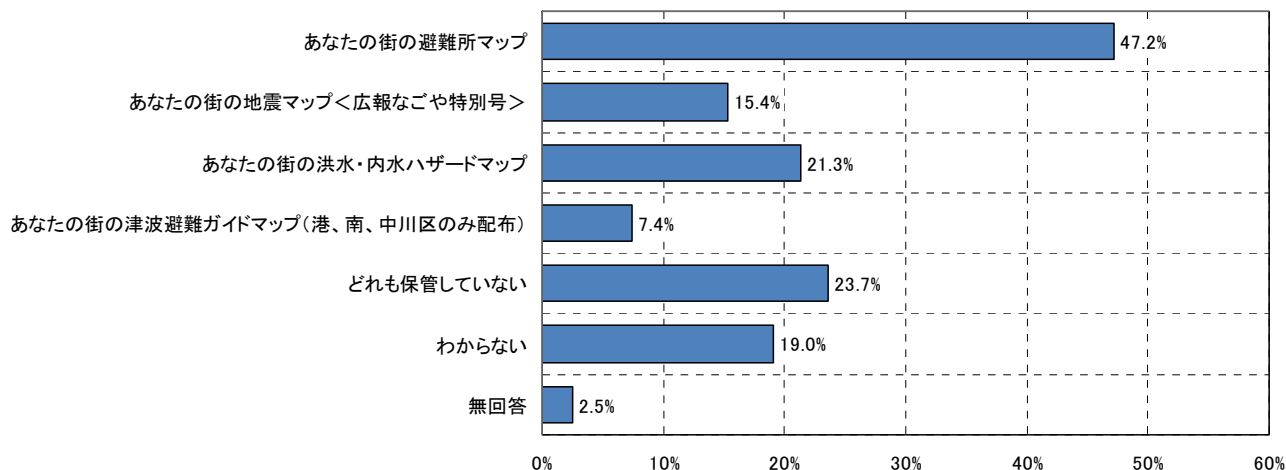
津波避難ビル等の場所や避難行動方法等の情報を伝えるために作成した地図です。
(港、南、中川区のみ配布)

防災マップを紛失された方は、名古屋市公式ウェブサイト (<http://www.city.nagoya.jp/>) でご確認いただけます。

再配布を希望される方はお住まいの区役所へお問い合わせください。

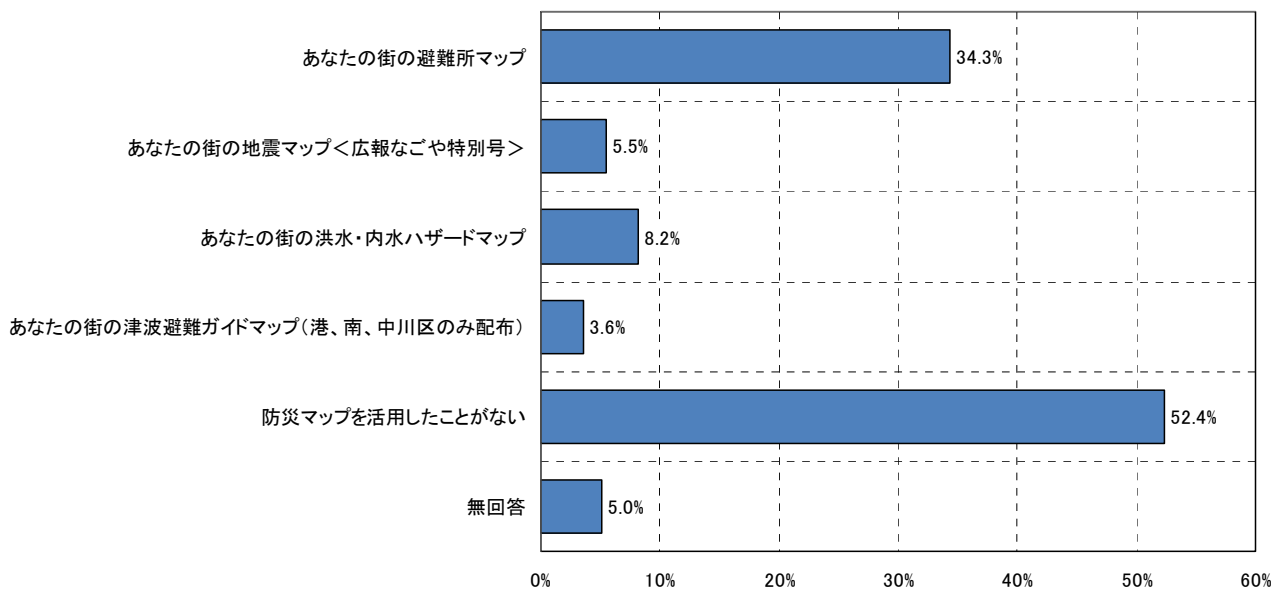
問3 あなたの家庭にはどの防災マップが保管されていますか。(〇はいくつでも)

N=951



問4 あなたは、地域の防災情報について確認するのに、どの防災マップを活用しましたか。
(〇はいくつでも)

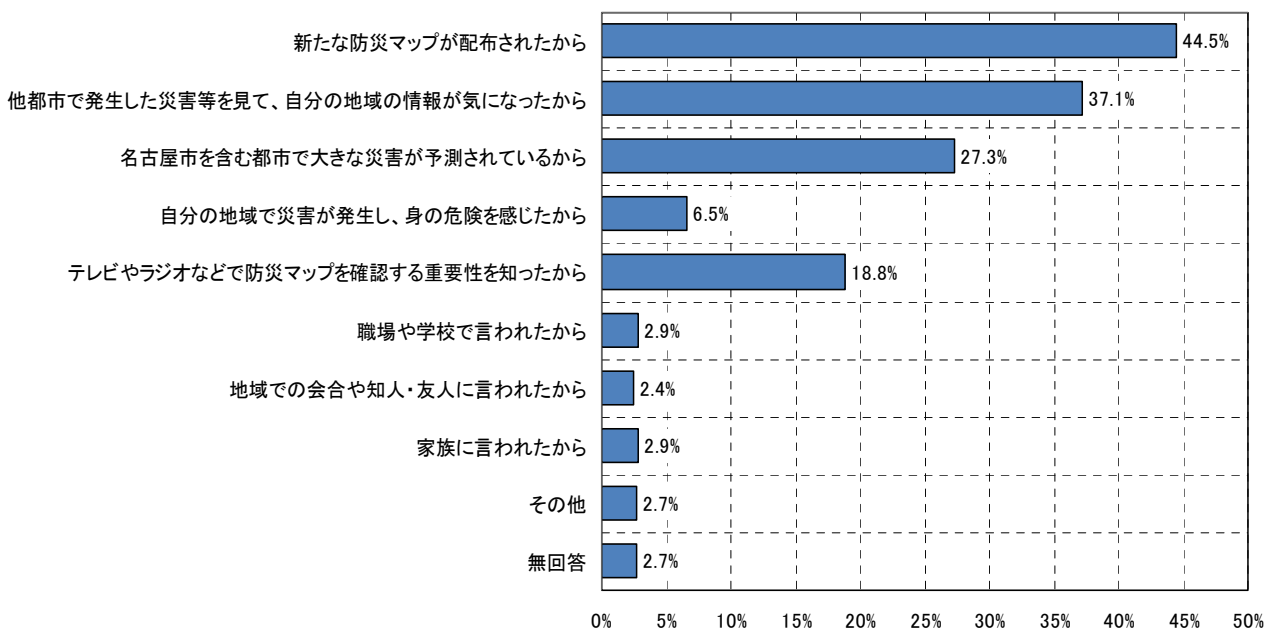
N=951



◀問4で1～4と答えた方（地域の防災情報を確認するのに防災マップを活用した方）におたずねします。▶

問5 地域の防災情報を防災マップで確認したのは、どのようなことがきっかけでしたか。
(〇はいくつでも)

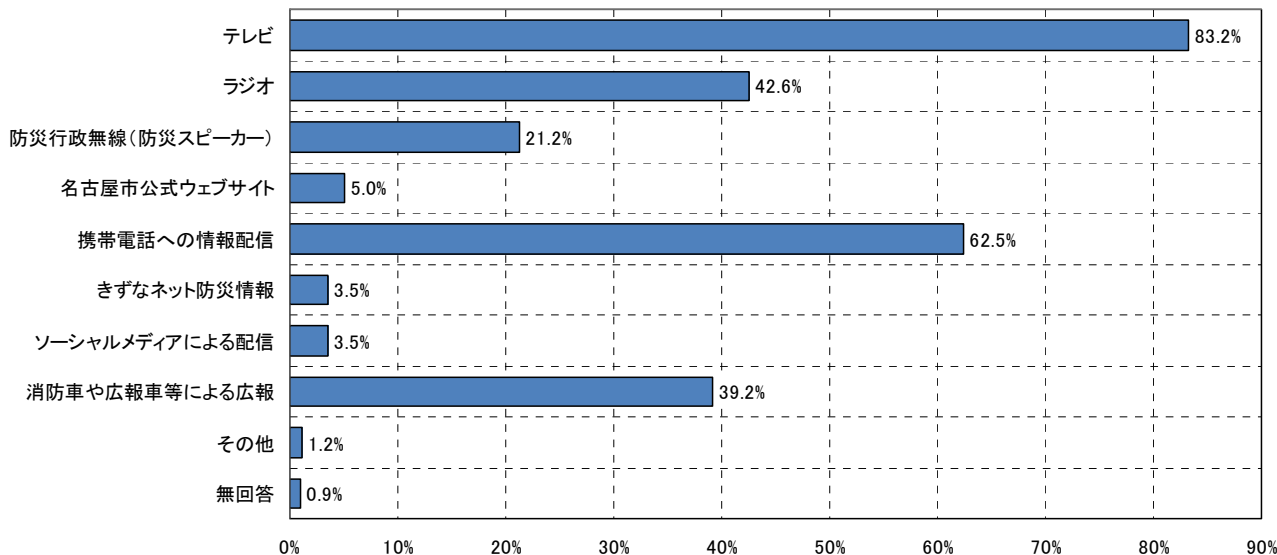
N=490



《すべての方におたずねします。》

問6 災害が発生した場合の緊急情報について、どのような方法での情報提供を期待しますか。(〇は3つまで)

N=951



- ※1 携帯電話向けの災害情報伝達サービスで、名古屋市内に滞在する受信機能を持つ携帯電話に緊急の防災情報をお知らせするもの。(NTTドコモは「エリアメール」 a uおよびソフトバンクは「緊急速報メール」での運用)
- ※2 中部電力株式会社が運営しているサービスで、名古屋市が発表する避難勧告や避難準備情報などの災害に関する情報と、消防・防災に役立つ情報を事前に登録された携帯電話やパソコン等のメールアドレスに配信するものです。
- ※3 参加者が互いに友人を紹介しあって、新たな友人関係を広げることを目的に開設されたコミュニティ型サイト。例：Facebook、twitter、 mixi、LINE、ミニブログなど